

吉川広家公 400 年祭記念行事 ご協賛のお願い

吉川広家公は天下分け目の関ヶ原の合戦後、この岩国に移封され、現在の岩国・柳井地域の礎を築いた初代岩国藩主です。※広家公についての解説は裏面参照

今年（令和 7 年）10 月 22 日には、没後 400 年を迎えます。

この度、吉川広家公の功績に敬意を表し、感謝を捧げるため、記念行事を開催することになりました。是非ともご賛同をいただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和 7 年（2025）8 月 岩国吉川会 会長 伊藤進吾

記念行事

※行事当日の配布資料や Web には、協賛者様のお名前又は社名がご希望に応じて記載されます。

10 月 11 日（土） 錦帯橋スカイランタン 400

※悪天候時は 10/13 に延期

夜の錦帯橋河原に 400 のスカイランタンを上げ、広家公に感謝を伝えます。（一般公募）

主催；岩国吉川会
共催；（公財）吉川報効会
錦帯橋を世界文化遺産に推す会
後援；岩国市、岩国市教育委員会
岩国商工会議所、（一社）岩国観光協会

10 月 22 日（水） 記念式典・感謝の集い

日本史学者による記念講演、及び吉川広家公へ感謝を捧げる宴。

会場の都合等により、案内状をお送りした方に限定して開催をさせていただきます。

11 月 8 日（土） 海上自衛隊 呉音楽隊 演奏会

演奏の素晴らしさと親しみやすい活動により全国的に知られる音楽隊による演奏会です。（入場無料、往復はがきでの事前申込必須）

主催；岩国吉川会
共催；岩国市、（公財）吉川報効会
錦帯橋を世界文化遺産に推す会
後援；岩国市教育委員会、岩国市文化協会
（公財）岩国市文化芸術振興財団
岩国商工会議所、（一社）岩国市観光協会

お支払方法

※お申込み期限は 9 月 30 日（火）

現金でのお支払

申込書と共に、現金を担当者にお渡しください。領収書を手渡すか、後日郵送します。

銀行口座へのお振込み

お振込み後、申込書を FAX 又はメールにてお送りください。
山口銀行 錦帯橋支店
（普通）5076823
岩国吉川会 会計 川畑道子

クレジットカード・Amazon Pay

下の特設 Web サイトの「協賛金」メニューボタンから手続きを開始してください。
※決済については、「くるとん出版」のシステムを利用しています。

お問合せ

吉川広家公 400 年祭記念行事実行委員会

窓口；藤井・三浦（株式会社 太昭組） TEL 0827-21-6161
mail kikkawahiroie400@taishogumi.com FAX 0827-24-4591

●特設 Web サイト

<https://kikkawa-hiroie.jp/>
検索「広家公 400 年」



キリトリ

岩国吉川会 宛

吉川広家公 400 年祭記念行事 協賛金申込書

お申込み日

協賛金 10,000 円 × () 口 = () 万円

令和 7 年 月 日

※ご希望の場合には、氏名又は社名が行事当日配布の資料と特設 Web に表示されます。

氏名 会社・団体名 電話

住 所 〒 e-mail

領収書 必要・不要

お支払方法 現金・振込

協賛者一覧への掲載 希望する・しない

※どちらかに○印

※どちらかに○印

※Web でのお支払の場合は申込書は不要です。

※どちらかに○印

※「会社名」をご記入の場合は、社名を優先して表示します。

岩国藩 初代藩主 吉川広家公 永禄4年(1561) — 寛永2年(1625)

●誕生

戦国時代の永禄4年(1561)11月1日、広家公は吉川家の三男として生を享けました。父は、中国地方のほぼ全域を治める毛利元就公の次男・吉川元春公です。弟の小早川隆景公と共に、力を合わせて毛利家を支える立場にありました。広家公は11歳で初陣を飾るなど、父譲りの勇猛果敢な武将に育ちます。そして26歳のとき、父と兄を続けて病で亡し、吉川家の当主になりました。

天下人・豊臣秀吉の命により朝鮮出兵に参戦した折には、敵に包囲された蔚山城の加藤清正を正面突破して救援するという武功を打ち立てました。

●関ヶ原の合戦

秀吉の死後、徳川家康が政治力を増すなか、豊臣政権で政務を担う石田三成ら(西軍)と家康が率いる勢力(東軍)との対立が表面化。その状況下で毛利家当主・毛利輝元公は慶長5年(1600)7月、三成の求めに応じて大坂城に入りました。このまま合戦になれば、西軍は敗北し、毛利家の存続は危うくなります。

そこで広家公は、徳川家に忠義を示し、毛利家の領土安堵の約束を徳川側と交わしました。9月14日のことでした。

その翌朝、関ヶ原の戦いが勃発。両軍が激しくもみ合うなか、吉川軍は毛利軍の先頭にいなながらも一歩も動かず、その後方に在陣していた毛利軍は、今かと出撃を待つしかありませんでした。結局、西軍の小早川秀秋による裏切りもあり、合戦は東軍の勝利で終結しました。



吉川広家像(模写) 所蔵：吉川史料館

その後、輝元公が西軍の総大将として積極的に関わっていたことが判明すると、毛利家は周防長門二国(現・山口県)への減封となりました。そして吉川家には、東の防衛の要として、現在の岩国・柳井地域が、毛利家より与えられました。

●岩国・和木・柳井 発展の礎

岩国・柳井への入封後、広家公は現在の横山を政治の中心とし、錦見での城下町の建設を開始しました。そして土地の土木工事、岩国城の築城、干拓による新田開発、法令の制定など…、地域の政治・経済や暮らしの環境を整備していきましました。それらは岩国・柳井地域が発展する礎になっています。

広家公は通津に隠居した後、寛永2年(1625)9月21日(陰暦)、65歳の生涯を閉じました。その人生は祖父と父の教えに導かれ、宗家・毛利を守るために費やされました。その毛利家は後に、明治維新の中心となり、近代日本の発展に大きく貢献することになったのです。

岩国吉川会

吉川広家公を初めとする歴代の岩国藩主による優れた治世は、現在の地域発展の礎となり、郷土の誇りとして今なお多くの方から敬慕されています。また、平安末期より綿々と続く吉川家は、武門の名家として駿河、安芸、因幡、石見の地にも足跡をのこし、各地域で吉川家を顕彰する会(吉川会)が設立されています。岩国吉川会は、各地の吉川会との交流窓口であり、互いに吉川文化の研鑽と交流を深め合う会として平成23年(2011)2月26日に設立されました。

岩国吉川会

〒740-0081 山口県岩国市横山2丁目7-6 吉川林産興業株式会社内

TEL 0827-41-0002

※協賛金に関するお問合せは以下へ

TEL 0827-21-6161 藤井・三浦(株式会社 太昭組)

